

環る JIA 2023 TOKONAME TOKAI ARCHITECT CONVENTION 11/9-10-11

JIA 建築家大会 2023 東海 in 常滑に向けて

2023年11月9日～11日に開催されるJIA 建築家大会2023 東海in常滑。今回はメインシンポジウム、パーティーなどの大会主要企画、大会1か月前より開催されるさまざまなオンライン企画「建築家大会ウィーク」、そして、見所満載のエクスカーションをご紹介します。ぜひ、皆様ご参加ください。

大会主要企画 11月9日(木)・10日(金)

メインシンポジウム 「環る」

日時：11月10日(金) 14:00～17:00 場所：常滑市民文化会館大ホール
 モデレーター：古谷誠章(早稲田大学・NASCA)
 パネリスト：井上博成(飛騨高山大学理事・起業家)、後藤泰男(INAXライブミュージアム)、
 小栗康寛(陶芸研究所)
 進行：浅井裕雄(大会実行委員長)

テーマ「環る」は、ぐるりとまわるという意味から、街や建築にあてはめると、回復させるとか、復元するといった意味を持っています。もとにもどるには、プラスに転じる何かがあるはず、そこに街の将来や、そこでの暮らしのアップグレードにつながるコトがあるのではと考えています。メインシンポジウムでは、4名の登壇者が5枚のビジュアル的スライドをつかって、「環る」を語ります。登壇者は、地域性を掘り下げるために常滑や東海を中心にセレクト。このシンポジウムは参加者が常滑の街を歩くことで、テーマを通して、みなさんが感じた課題を議論できればと考えます。



古谷誠章氏



井上博成氏



後藤泰男氏

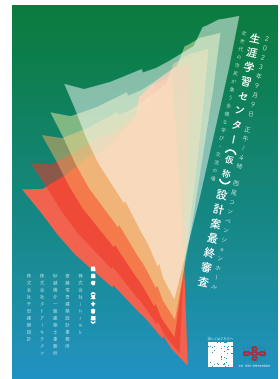


小栗康寛氏

シンポジウム 『西尾市生涯学習センターコンペ』から公共建築の設計者選定を考える

日時：11月9日(木) 13:00～15:00 場所：常滑市民文化会館ホール
 基調講演：山本理顕(山本理顕設計工場)
 パネリスト：伊藤恭行(CAn)、加茂紀和子(みかんぐみ)、鈴木貴之(西尾市役所)、
 恒川和久(名古屋大学)
 進行：吉元学(ワークキューブ)

JIA東海支部が西尾市を全面的にサポートする形で『(仮称)西尾市生涯学習センターコンペ』が行われました。このコンペでは、小さくても公共建築の実施経験があること、実績がなくてもJIA登録建築家や統括設計専攻建築士であれば参加資格を持てるように大きく門戸を広げ、審査員5名全員が建築家という体制で審査を行うといった要項づくりなどをJIAでお手伝いしました。その結果、全国から152もの提案が集まり、若い建築家たちの優れた提案が一次審査を通過しています。シンポジウムでは、西尾コンペの意義について、また、全国にこうしたコンペを広げていくにはどんな課題があるのか、JIAはどんな役割を担うべきなのかについて議論します。



ウェルカムパーティー

日時：11月9日(木) 18:30～20:30
 場所：INAXライブミュージアム 窯の広場

会場は16:00より全館特別見学ができますので、国登録有形文化財の窯の資料館(E.L.ライト企画展開催中)など、早めにお越しいただきご見学ください。さらに、常滑祭り一番の山車「常石車(市指定有形文化財)」が、地区の方々により巡航されます。陶芸研究所から散策路経由数分の常石神社下、二の鳥居で17:00参拝後に巡航開始予定で、18:30のパーティー開始と同時に会場中心部へ曳き入れます。特別にJIAの皆様も最初から綱を曳けますので、奮って動く伝統建築を堪能ください。その後は、囃子太鼓、木遣り、三番叟(市指定無形文化財)奉納の他、JIA有志4チームによるバンド演奏、併設イタリアンレストランのビュッフェやワイン他を、ライトアップされた煙突などをつまみにお楽しみください。



2023年9月5日現在

*各プログラム内容・日時は変更になる可能性がありますのでご了承ください。

大会スケジュール

11月9日		10日		11日
9:00	9:00~17:00 総合受付 ◆常滑市民文化会館			「エクスカーション」 ・環るツアー静岡 ・環るツアー愛知A・B ・環るツアー三重 ・環るツアー岐阜 ・文化財修復塾ツアー ・環るツアー知多半田
10:00		◆神戸工場見学 9:20~11:20	シンポジウム 西尾市コンベ「から見えてくる、建築設計者の資格の将来像」 ◆常滑市中央公民館 2階視聴覚室 9:00~10:30	
11:00	まちづくりワークショップ企画 まち歩き 常滑の「たから」と「あら」 ◆常滑市民文化会館 1階第2展示室 10:30~12:45 (ランチミーティング含む)	街歩き(自由) やきもの散歩道等	災害対策会議シンポジウム ◆旧青木製陶所 9:00~10:30	
12:00			国際委員会 シンポジウム International Presidents' Forum ◆旧丸利陶管F棟 9:30~11:30	
13:00			シンポジウム JIA-KITアーカイヴス 「偉大な先輩建築家に学ぶ」 ◆常滑市中央公民館 2階会議室 10:30~12:15	
14:00	西尾コンベンション ◆常滑市民文化会館:大ホール 13:00~15:00 基調講演:山本理頭 パネリスト:伊藤恭行、加茂紀和子、鈴木貴之、恒川和久		◆二次審査・表彰式 ◆旧青木製陶所 13:30~16:30	
15:00	街歩き(自由) やきもの散歩道等		◆大会式典 ◆常滑市民文化会館:大ホール 13:00~13:50	
16:00	座談会 JIA東海若手建築家 「これからの建築家のあり方を考える」 ◆旧丸利陶管F棟 15:30~16:30		◆メインシンポジウム ◆常滑市民文化会館:大ホール 14:00~17:00 モデレーター 建築家 古谷誠章 パネリスト 飛騨高山大学理事・起業家 井上博成 INAXライブミュージアム学芸員 後藤泰男 陶芸研究所学芸員・考古学者 小栗康寛	
17:00	JIA参加者 特別見学 ◆INAXライブミュージアム 16:00~18:20	山車曳き 17:00~17:50	◆名譽会員の集い ◆愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo M1会議室 17:30~18:00	
18:00				
19:00	ウェルカムパーティー ◆INAXライブミュージアム 18:30~20:30		◆レセプションパーティー ◆愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo L3~L6会議室 18:30~20:30	
20:00				
21:00	2次会 ◆常滑市内各所 21:00~23:00			
23:00				
各種会議	法人協力会サミット ◆陶磁器会館3階 会議室 15:00~17:00 支部長OB会 ◆INAXライブミュージアム 陶楽工房 16:00~17:30 環境会議 ◆INAXライブミュージアム どんご館 16:00~17:30		保存再生会議 拡大定例会 ◆陶芸研究所 10:00~11:30 支部役員会近畿支部 ◆常滑市中央公民館3階和室 12:00~13:00 支部役員会四国支部 ◆常滑市中央公民館3階和室 12:00~13:00	

大会プログラムは、9日、10日とも
各日 CPD 6単位認定になります

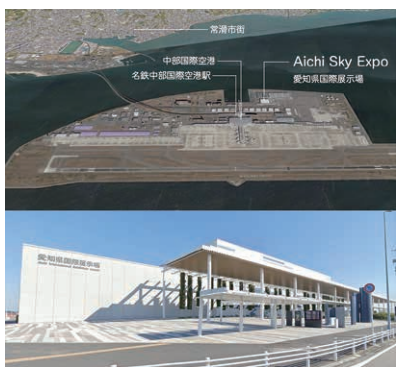
各イベントの詳細、最新の情報は、大会HPからご確認ください ▶▶▶



レセプションパーティー

日時：11月10日(金) 18:30~20:30
場所：愛知県国際展示場 Aichi Sky Expo 大会議室L3~L6

レセプションは、中部国際空港に隣接する愛知県国際展示場Aichi Sky Expo(設計：竹中工務店2019)にて行います。オープニングセレモニーとして、知多半島にある日本福祉大学附属高校の和太鼓部「楽鼓」による演奏が皆様をお迎えます。和太鼓全国大会の常連校で、昨年も最優秀賞を取った「海嶺」は、江戸末期に遭難した知多の音吉がアメリカに漂着、幕府の政策で帰国できず、その後の遭難者のために一生を尽くし、イギリス国籍取得日本人第1号となった実話がテーマの、創作性と国際性の高い迫力ある演目です。知多の高校生数十人による体に響くパフォーマンスをぜひお楽しみください。その後、常滑の老舗澤田酒蔵(六代目ママ蔵元)の樽酒で鏡開き、知多半島の地酒、お料理などをお楽しみください。



建築家大会ウィーク 10月・11月 本大会1か月前より多彩なオンライン企画を開催します。

■ 10月12日(木) 18:00～20:00 **開会挨拶＋シンポジウム** 住宅等連携会議「建築家、風土をデザインする」

参加予定人数300名／一般参加あり

地球の気候変動は危機的状況であり、脱炭素社会を目標に動き出している。現代的あるいは先端的手法により省エネ性能を高める中で、伝統工法を守りながら、地域の気候風土に適応する方法で省エネに取り組むなど、そのアプローチはさまざまである。土地の環境はさまざまな点で違いをもつ。それらを読み取り、建築とすることが建築家の役割である。地域の気候風土を建築のデザインに繋げている、それぞれの建築家のチカラを発信したい。

パネリスト：末光弘和 (SUEP)
水野友洋 (水野設計室)
柿川麻衣 (Arup)
ファシリテーター：小堀哲夫 (小堀哲夫建築設計事務所)



■ 10月13日(金) 15:00～17:00 **会議** 法人協会のプレサミット「建築家が望む法人協会との関係」「法人協会が望む建築家との関係」

参加予定人数100名／一般参加なし

■ 10月16日(月) 18:00～20:00 **シンポジウム** 理事会、職能・資格制度委員会、本部建築家資格制度実務委員会(共催)「資格制度のこれから」を考える

参加予定人数200名／一般参加あり

1987年、丹下健三初代会長はJIAの活動基軸として「建築家職能のための法体系整備を進める」ことを掲げました。鬼頭梓会長(当時)は1992年の総会で、世界基準の建築家を育成する「建築家資格制度」の確立を目指すことを表明、2003年度にはUIAアコードを満たす「登録建築家」の認定・登録が始まります。その後も制度の推進に努めてきましたが、2017年以降は漸減傾向にあります。昨年、資格制度に関する理事懇談会が開催され、今後の大きな方向性の案が会長を中心にまとめられました。今回、この案をもとに、建設的に広く意見交換する場を設けます。

登壇者：佐藤尚巳 (佐藤尚巳建築研究所：JIA会長)
黒木正郎 (日本郵政：関東甲信越支部)
上垣内伸一 (ウエガイト設計事務所：関東甲信越支部)
水越英一郎 (山下設計：関東甲信越支部)
南 知之 (石本建築事務所：職能・資格制度委員会委員長)

建築家大会ウィークカレンダー

月	火	水	木	金	土
10/9	10/10	10/11	10/12 18:00～20:00 開会挨拶＋シンポジウム 住宅等連携会議 「建築家、風土をデザインする」	10/13 15:00～17:00 法人協会のプレサミット 「建築家が望む法人協会との関係」 「法人協会が望む建築家との関係」	10/14
10/16 18:00～20:00 シンポジウム 理事会、職能・資格制度委員会、本部建築家資格制度実務委員会(共催)「資格制度のこれから」を考える	10/17	10/18 18:00～20:00 全国10支部合同企画(第1回/全3回) 「注目の若手建築家による建築討論」	10/19	10/20 18:30～20:00 シンポジウム 東北支部 震災から10年企画 「繋ぐ」つなぐを振り返る	10/21 13:00～18:00 シンポジウムと公開審査(公社)愛知建築士会 名古屋北支部 「第15回 建築コンクール さよなら建築」
10/23 18:00～20:00 セミナー 「UIAゴールデンキューブ賞2023 国際表彰レポート & JIAゴールデンキューブ賞2023 受賞者トーク」	10/24 13:00～15:00 建築相談連携会議 「各支部の相談活動と課題」	10/25 18:30～20:30 シンポジウム まちづくり会議+関東甲信越支部建築まちづくり委員会 「脱経済成長とコモンを捉えた建築まちづくり/地球環境と幸せを考える」	10/26 14:00～17:00 講演会 保存再生会議 「近現代の歴史的建造物の継承を担う職能」	10/27 18:00～20:00 全国10支部合同企画(第2回/全3回) 「注目の若手建築家による建築討論」	10/28 18:00～20:00 会議 JIA関東甲信越支部 学生の会 @joint 「JIA全国学生の会@joint サミット」
10/30	10/31 19:00～21:00 座談会 JIA東海若手建築家 「これからの建築家のあり方考える」	11/1 18:00～20:00 シンポジウム JIA-KIT 建築文化継承機構 「偉大な先輩建築家に学ぶⅦ」	11/2	11/3 18:00～20:00 全国10支部合同企画(第3回/全3回) 「注目の若手建築家による建築討論」	11/4

■ 10月18日(水) 18:00～20:00 会議 全国10支部合同企画(第1回/全3回) 「注目の若手建築家による建築討論」

参加予定人数200名／一般参加あり

JIA全国10支部から選出された注目の若手建築家12名による建築討論。モデレーターにJIA新人賞受賞者の前田圭介氏、木村吉成氏、栗原健太郎氏+岩月美穂氏を迎え、大会ウィーク期間で全3回の討論会を開催し、11月9日の大会初日は常滑に登壇者全員が集結し、大会テーマ「環る」を主題とした討論会を総括する。

- モデレーター：前田圭介 (UID:2012年度JIA新人賞)
 登壇者：岩澤浩一 (北海道科学大学：北海道支部推薦)
 金野千恵 (一級建築士事務所teco：関東甲信越支部推薦)
 澤秀俊 (澤秀俊設計環境：東海支部推薦)
 中井基博 (アーキラボMOU建築設計：北陸支部推薦)



■ 10月20日(金) 18:30～20:00 シンポジウム 「東北支部 震災から10年企画「繋ぐ|つなぐ」を振り返る」

参加予定人数100名／一般参加あり

2022年8月31日から9月2日に開催した【震災から10年企画「繋ぐ|つなぐ」】では全国から参加した会員と岩手・宮城・福島復興の現状を視察した。その企画内容を振り返り、参加できなかった会員と情報を共有することで、震災復興の現状と未来への視点を深める。

■ 10月21日(土) 13:00～18:00 シンポジウム (公社)愛知建築士会名古屋北支部 +公開審査 「第15回建築コンクール さよなら建築」

参加予定人数100名 (YouTube 配信 人数制限なし)／一般参加あり

このコンクールは“建築の定義を広げる”ということを目的として開催します。実現した建築、実現可能な提案を募集するとともに、家具やプロダクト、インсталレーション、日常の風景など、分野の境界を越え“建築の定義を広げる”作品を募集します。受賞作品の選考については、公開審査に先立って開催されるシンポジウムにてテーマを掘り下げ、その後、公開審査会で各賞を決定いたします。

- パネラー・審査員：松山将勝 (建築家)
 ナガオカケンメイ (デザイン活動家)
 秋吉浩気 (建築家)



■ 10月23日(月) 18:00～20:00 セミナー 「UIAゴールデンキューブ賞2023 国際表彰リポート & JIAゴールデンキューブ賞2023受賞者トーク」

参加予定人数500名／一般参加あり

UIAゴールデンキューブ賞受賞者、JIAゴールデンキューブ賞受賞者に発表いただき、審査状況の報告をします。

- モデレーター：田口純子 (UIA Architecture and Children Work Programme)
 登壇者：鈴木賢一 (JIAゴールデンキューブ賞実行委員長)
 六鹿正治 (審査委員長)
 受賞者トーク：福口朋子 (設計機構ワークス) 学校部門 UIA建築と子どもゴールデンキューブ賞 最優秀賞／JIAゴールデンキューブ賞 優秀賞
 山田祥一郎 (早稲田大学) 出版部門 UIA建築と子どもゴールデンキューブ賞 特別賞／JIAゴールデンキューブ賞 優秀賞
 山田瞳子 (工学院大学) 組織部門 JIAゴールデンキューブ賞 優秀賞
 萬野光雄 (JIA京都地域会) 視聴覚部門 JIAゴールデンキューブ賞 優秀賞

■ 10月24日(火) 13:00～15:00 会議 建築相談連携会議 「各支部の相談活動と課題」

参加予定人数10～30名程度／一般参加なし

■ 10月25日(水) 18:30～20:30 シンポジウム まちづくり会議+関東甲信越支部建築まちづくり委員会 「脱経済成長とコモンを捉えた建築まちづくり/地球環境と幸せを考える」

参加予定人数300名／一般参加あり

建築まちづくりに関わる中で、どのような方向に進めばよいのか?の視点を建築家は常に求められる。地球環境に優しい社会、人にとって幸せとは何か? その方向性が見えなければ、建築行為は気づかぬうちに間違いを犯している可能性もあろう。その俯瞰的視点を持つためには、建築を単体として捉えるのではなく、まちづくりを含めた幅広い捉え方が必要であり、そこには公共の福祉という公益的視点で建築家職能を再考することが求められよう。この視点を深掘すべく、影響的な3冊の本『土地は誰のものか』『里山資本主義』『人新世の資本論』を取り上げ、著者、五十嵐敬喜氏と藻谷浩介氏を招いてシンポジウムを行う。住民と行政と専門家を繋ぐファシリテーションやデザインレビューなどの仕組みなど、建築やまちづくりの質やクライテリアの手掛かりに繋げる中で、結果として「環」になっているかも……。



■ 10月26日(木) 14:00 ~ 17:00 講演会 保存再生会議、愛知地域会研修委員会、保存研究会共催
「近現代の歴史的建造物の継承を担う職能」

参加予定人数 100名 / 一般参加あり

国内の近現代建築を中心とする文化財・歴史的建造物の保存再生工事の設計監理の実務経験をふまえ、建築保存・再生・継承・景観保全の計画や歴史的環境を活かしたまちづくり・既存ストックの活用などの実践的研究を行う。その知見を活かした自治体や企業などの外部委員やアドバイザーなどを務める講演者から、JIA会員の建築家としての責務の一端を聴く講演企画。

登壇者：津村泰範(長岡造形大学建築・環境デザイン学科准教授、修復建築家)

■ 10月27日(金) 18:00 ~ 20:00 会議 全国10支部合同企画(第2回/全3回)
「注目の若手建築家による建築討論」

参加予定人数 200名 / 一般参加あり

モデレーター：木村吉成(木村松本建築設計事務所:2021年度JIA新人賞)

登壇者：齋藤和哉(齋藤和哉建築設計事務所:東北支部推薦)
井原正揮(ihrmk一級建築士事務所:関東甲信越支部推薦)
山口陽登(YAP一級建築士事務所:近畿支部推薦)
佐々木翔(INTERMEDIA:九州支部推薦)

■ 10月28日(土) 18:00 ~ 20:00 会議 JIA関東甲信越支部 学生の会 @joint
「JIA全国学生の会 @jointサミット」

参加予定人数 20 ~ 25名 /

学生は一般参加あり(関東から10名+各支部から1、2名)、学生以外はJIA会員のみ(見学)

JIA学生会員による懇親/交流会。関東甲信越支部で行われている学生の会の全国版として各支部から参加者を募り開催する。各支部への学生会員活動の波及を目的とし、各々のこれまでの作品紹介や大学ごとの建築教育の違いについて話し合い、交流を深める。



■ 10月31日(火) 19:00 ~ 21:00 座談会 JIA東海若手建築家「これからの建築家のあり方を考える」

参加予定人数 100名 / 一般参加あり

従来的な建築家の仕事とは違った働き方をする建築家の「現場」に訪れ、ドキュメンタリー動画を作成。その動画や当日の座談会から多様化する建築家のあり方について考える。

①現状分析: 周りの建築家たち ②目的と全体像: 多様化する建築家の一端を伝える ③ドキュメンタリー撮影(事務所周辺の視察および活動内容のヒアリング、建主との対談、現場視察および設計思想のヒアリング等)

登壇者：澤 秀俊(澤秀俊設計環境 / SAWADEE)
河合啓吾(TAB)
辻 琢磨(辻琢磨建築企画事務所、403architecture [dajiba])
葛島隆之(葛島隆之建築設計事務所)
オブザーバー：浅井裕雄(裕建築計画:大会実行委員長)



■ 11月1日(水) 18:00 ~ 20:00 シンポジウム NPO 建築文化継承機構/JIA—KIT 建築アーカイヴス会議
「偉大な先輩建築家に学ぶⅧ」

参加予定人数 100名 / 一般参加あり

愛知県にゆかりのある建築家が、どのように地域、文化を考え、その作品を作り上げていったかということ、建築家の後継者、関係者、研究者より語っていただくシンポジウムの第1幕。偉大な建築家(アントニン・レーモンド、吉村順三)の教を学びます。大会当日(11月10日)にも第2幕(伊藤建築設計事務所、谷口吉郎)としてリアル+同時配信で実施、さらに第3幕として11月11日にシンポジウム連動エクスカーションを企画し、愛知の建築文化を学びます。

登壇者：三浦敏伸(レーモンド設計事務所代表取締役)、他

■ 11月3日(金) 18:00 ~ 20:00 会議 全国10支部合同企画(第3回/全3回)
「注目の若手建築家による建築討論」

参加予定人数 200名 / 一般参加あり

モデレーター：岩月美穂(studio velocity:2016年度JIA新人賞)
登壇者：齋藤智士(建築設計事務所SAI工房:近畿支部推薦)
高橋翔太郎(高橋翔太郎建築設計事務所:中国支部推薦)
横島 康(州建築工房:四国支部推薦)
仲本兼一郎(STUDIO MONAKA:沖縄支部推薦)

エクスカーション 11月11日(土)

No.01 環るツアー愛知 A

常滑駅集合 (9:20 発) → 豊田市美術館 (設計: 谷口吉生 1995) → 愛知県緑化センター (設計: 瀧光夫 1975) → あいち海上の森センター (設計: 第一工房 2006) → 愛知県立芸術大学 (設計: 吉村順三 1966) → 名古屋駅 (17:40 着予定)

参加費 ¥10,000 (豊田市美術館 企画展 F.L. ライト 展入場料含む、昼食代含む)



豊田市美術館

No.02 環るツアー愛知 B1

常滑駅集合 (9:30 発) → 稲沢市庁舎 (設計: ゲンプラン 1970) → 旧羽島市役所 (設計: 坂倉準三 1958) → 千代菊酒造 (坂倉準三生家) → 名古屋大学豊田講堂 (設計: 槇文彦 1960) → 小堀哲夫ミニレクチャー ((仮) 東海国立大学機構プラットフォーム設計者) → 南山大学・神言神学院 (設計: A. レーモンド 1964) → 名古屋駅 (17:30 着予定)

参加費 ¥10,000 (昼弁当つき)



名古屋大学豊田講堂

No.03 環るツアー愛知 B2

常滑駅集合 (9:00 発) → 浅沼組名古屋支店 (設計: 川島範久 (解説付き) 2022) → トヨタ産業技術記念館 (設計: 竹中工務店 2004) → 名古屋大学豊田講堂 (以降、環るツアー愛知 B1 に合流) → 名古屋駅 (17:30 着予定)

参加費 ¥10,000 (トヨタ産業技術記念館入場料含む、昼食代含む)



浅沼組名古屋支店

No.04 環るツアー岐阜

常滑駅集合 (8:50 発) → セラミックパーク MINO (設計: 磯崎新 2002) → 多治見市モザイクタイルミュージアム (設計: 藤森照信 2016) → 幸兵衛窯……オリベストリート、カトリック多治見教会神言修道院 (1930) → 虎溪山永保寺 (国宝・観音堂、開山堂) → 名古屋駅 (17:35 着予定)

参加費 ¥10,000 (昼食代含まず)



虎溪山永保寺

No.05 環るツアー三重

常滑駅集合 (9:10 発) → 六華苑 (重要文化財 設計: J. コンドル 1913) → 三重大学レーモンドホール (A. レーモンド 1951) → 高田本山専修寺 (国宝・御影堂、如来堂、庭園「雲幽園」) → 津駅 (16:00 着予定) → 名古屋駅 (17:30 着予定)

参加費 ¥11,000 (昼食代含む)



六華苑

No.06 環るツアー静岡

常滑駅集合 (8:40 発) → コルゲートハウス (川合健二郎 1966) → 鴨江アートセンター (旧浜松警察署庁舎 1928) → 木下恵介記念館 (旧浜松銀行協会 1930) → 資生堂アートハウス (設計: 谷口吉生 1978) → 掛川城 (御殿: 重要文化財) → 掛川駅 (16:00 着予定) → 名古屋駅 (18:10 着予定)

参加費 ¥12,000 (昼うなぎ弁当つき)



資生堂アートハウス

No.07 環るツアー知多半田

常滑駅集合 (9:45 発) → 國盛酒の文化館 → 中埜半六邸・庭園 → 半田運河沿い・黒壁散策 → 半田赤レンガ建物 (旧カプトビール工場 設計: 妻木頼黄 1898) → 常滑駅 (15:00 着予定) → 中部国際空港 (15:15 着予定)

参加費 ¥8,000 (中埜半六邸入場料含む、昼食代含まず)



半田赤レンガ建物

No.08 文化財修復塾ツアー

常滑駅集合 (8:30 発) → JR 千種駅 (9:30 発) → 豊田市足助伝統的建造物群保存地区「旧料理旅館寿々家」 → 昼食各自 → 「旧紙屋鈴木家住宅」 (国重要文化財) → 町並み散策 → 名古屋駅 (17:10 着予定)

参加費 ¥8,000 (昼食代含まず)



旧紙屋鈴木家住宅

建築家大会ウィークの各イベント、
各エクスカーションとも、
CPD 単位認定の申請中です

大会参加お申し込み、エクスカーション参加申し込みはこちらから
ぜひ皆さんご参加ください

